

# 海洋地球インフォマティクス 2016

～情報・データの科学技術が社会の新しい扉を拓く～

情報通信技術 (ICT) の発達により、膨大なデータの生成・収集蓄積が可能となり、こうした“ビッグデータ”を近未来の予測などに活用して、新しい価値を創出することが求められています。海洋研究開発機構地球情報基盤センターは海洋地球科学と情報科学の融合によって社会的・環境的・経済的な新しい価値を生み出す革新的な科学技術である「海洋地球インフォマティクス」を推進しています。

昨年開催した第1回シンポジウムに引き続き、第2回目の今年は「マテリアルインフォマティクス」、「バイオインフォマティクス」およびインフォマティクス分野で活躍している民間企業を紹介するとともに、海洋研究開発機構における「海洋地球インフォマティクス」の研究を紹介します。インフォマティクスに関連する分野の最先端の活動の紹介や分野間を横断する共通したテーマの情報交換が、さらなるアイデアの創発やインスパイアにつながることを期待されます。

参加無料：事前申込 URL <http://www.jamstec.go.jp/ceist/sympo/2016/>

日時：平成28年 **5月11日** (水)  
13:30～17:45 (開場 13:00)

会場：コクヨホール  
〒108-8710 東京都港区港南 1-8-35

主催：  
国立研究開発法人海洋研究開発機構

お問い合わせ先：  
海洋研究開発機構地球情報基盤センター  
シンポジウム事務局

Email: [es-sympo@jamstec.go.jp](mailto:es-sympo@jamstec.go.jp) Tel: 045-778-5861





# 海洋地球インフォマティクス 2016

～情報・データの科学技術が社会の新しい扉を拓く～

## プログラム

13:00～13:30	開場・受付開始
13:30～13:35	主催者挨拶 平 朝彦 (海洋研究開発機構 理事長)
13:35～13:40	来賓挨拶 林 孝浩 (文部科学省 研究開発局 海洋地球課 課長)
13:40～14:00	「海洋地球インフォマティクスの可能性」 高橋 桂子 (海洋研究開発機構地球情報基盤センター センター長)
14:00～14:30	基調講演<バイオインフォマティクス分野から> 「Data-driven Systems Biologyとその産業応用」 富田 勝 (慶應義塾大学先端生命科学研究所 所長)
14:30～14:50	招待講演<バイオインフォマティクス分野から> 「de novo トランスクリプトームアセンブリーによるクモ糸高機能発現メカニズムの解明」 荒川 和晴 (慶應義塾大学先端生命科学研究所 特任准教授)
14:50～15:20	基調講演<マテリアルインフォマティクス分野から> 「情報統合型物質・材料研究の課題」 寺倉 清之 (物質・材料研究機構 フェロー / 情報統合型物質・材料研究拠点 拠点長)
15:20～15:40	招待講演<マテリアルインフォマティクス分野から> 「ベイジアン・アプローチに基づく情報統合型物質・材料探索」 吉田 亮 (情報・システム研究機構 統計数理研究所 准教授)
15:40～16:00	休憩
16:00～16:20	招待講演<産業界における展開> 「IBMにおけるデータ中心型の応用研究とそれを支えるIT基盤の研究・開発」 清水 茂則 (日本アイ・ビー・エム株式会社 ハイエンドシステム事業部 技術理事)
16:20～16:40	招待講演<産業界における展開> 「オープンシステムにおけるインフォマティクス ―生物多様性を例として―」 船橋 真俊 (株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所 アソシエイトリサーチャー)
16:40～17:00	<JAMSTECから> 「海洋地球インフォマティクスの展開」 鳥海 光弘 (海洋研究開発機構海洋科学技術イノベーション推進本部 研究推進担当役)
17:00～17:20	<JAMSTECから> 「可視化と機械学習による海洋地球インフォマティクスへの貢献」 松岡 大祐 (海洋研究開発機構地球情報基盤センター 技術研究員)
17:20～17:40	<JAMSTEC共同研究から> 「エッジコンピューティングとスーパーコンピュータで創る社会変革」 神谷 弘樹 (日本電信電話株式会社NTT未来ねっと研究所 研究主任) 大西 領 (海洋研究開発機構地球情報基盤センター グループリーダー)
17:40～17:45	閉会挨拶 東 垣 (海洋研究開発機構 理事)